

重点プロジェクト

基本計画の取り組みの中から、特に集中的・重点的に進めるものを重点プロジェクトとして設定します。
本計画では5つのプロジェクトを設定し、優先的に取り組むことで、計画全体の推進を図ります。

環境の輪づくりプロジェクト

市・市民・事業者間、地域間、環境活動団体や環境リーダー間のネットワークづくりに取り組みます。
環境データベースを整備し、情報の収集・提供がしやすい環境をつくります。

市民・事業者・市の協働による計画の推進

- ◇ 3者協働によるパートナーシップ組織を結成します
- ◇ 公害防止協定の締結など、事業者と市が協働します

学校同士、地域同士が連携した取り組みの推進

- ◇ 代表者による定例会の開催などにより、学校同士、地域同士で情報を共有、取り組みの連携を図ります

流域の環による水環境保全の推進

- ◇ 流域ネットワークの形成を呼びかけ、流域全体で連携した水環境保全に取り組みます

各種環境情報を共有するためのツールの整備

- ◇ 環境活動団体や環境リーダー、各種イベントなどの環境情報を管理、提供、検索しやすくします
- ◇ 地域の名人や語り手などを把握するとともに、環境リーダーを育成します

積極的な情報収集と発信

- ◇ 既存施設などを利用し、環境情報を収集、集積し、環境の実態に触れることができる場所を整備します
- ◇ 広報紙やインターネット、CATVなどを活用し情報をPRします

地域との連携による環境学習推進プロジェクト

子どもから大人まで、すべての市民を対象とした環境教育を推進します。
学校と地域、事業者、市との連携を強化し、地域ぐるみで環境教育を推進します。

地域と学校が連携した環境教育の推進

- ◇ 地域との協働による環境教育について、モデル校を設定し検討します
- ◇ モデル校では地域住民や環境リーダーが積極的に授業に参加し、環境教育を実施します

地域と市・事業者が連携した環境学習の推進

- ◇ 市は地域での出前講座などを行います
- ◇ 事業者は企業見学の受入や出前授業などを行います
- ◇ 事業者は学校や地域での環境活動に参加します

地域の子どもたちが主体となった環境活動

- ◇ 子どもによる身近な環境調査を定期的実施します
- ◇ 調査結果をもとに、環境の変化がわかる地域情報マップを作ります

豊かな森再生プロジェクト

林業の活性化に取り組み、本市の豊かな森林の保全に努めます。
市民や事業者が協働し、森林整備活動に積極的に参加する活動を推進します。

地元産木材・林産物の利活用推進

- ◇ 地元産木材や林産物の利活用について研究、開発を行うとともに、環境保全効果をPRします
- ◇ 木質ペレットストーブや薪ストーブなどの普及を進めます
- ◇ 木屑やおが屑などを堆肥に利用し、循環型農業を推進します
- ◇ 河川の近自然工法などに木材を利用します

市民・事業者の協働の森づくり

- ◇ 市や林業関係者、環境団体、地域住民が連携し、森の管理活動を行います
- ◇ 森づくり体験やモデルフォレスト運動などにより、市民・事業者も森づくりに積極的に取り組みます
- ◇ 森づくりに参加した市民・事業者を顕彰するなどして、取り組みを推進します
- ◇ 森林アドバイザーなど、森づくり活動のリーダーとなる人材を育成します

- ◆ **広葉樹の森づくり** ◆
 - ・ スギ・ヒノキ林について、広葉樹との複層林化を進めます
 - ・ 再造林の際は、広葉樹の植林を検討します

南丹の‘ほんまもん’活用プロジェクト

地元食材や特産品、歴史・文化、貴重な動植物などを保全・活用したまちづくりに取り組みます。
市や関係機関と地域住民が連携し、里地里山の保全・活用に努めます。

地域環境資源について学ぶ機会の創出

- ◇ 地域の名人や語り手などから、歴史・文化について学ぶ機会を作ります
- ◇ 伝統食文化を継承する活動を進めます

地域環境資源の保全・有効活用

- ◇ 地元食材を扱う直売所やイベントなどにより、本市をPRします
- ◇ 本市ならではの農業体験や環境学習体験をPRします

魅力ある里地里山の保全

- ◇ ベニバナヤマシャクヤクやオオサンショウウオなど、貴重な動植物を保全するとともに、地域おこしにつなげます
- ◇ 里山へのごみのポイ捨てや不法投棄の防止を徹底します
- ◇ 地域住民の参加により、里山の手入れを進めます
- ◇ 農村原風景を保全した里地里山モデル地区を設定します
- ◇ 有機農業、減農薬・減化学肥料農業を進めます
- ◇ 耕作放棄地の増加を防ぐ対策を進めます

資源・エネルギーの地産地消プロジェクト

バイオマスの有効利用に取り組み、ごみの減量化につなげるとともに、資源の循環するまちを目指します。
地域の再生可能エネルギーについて、利活用に取り組みます。

地域内バイオマスの利活用推進

- ◇ 3Rを推進し、ごみの減量化と利活用に取り組みます
- ◇ 生ごみや廃食用油などの有機性廃棄物について、発生状況に応じた利活用を検討します
- ◇ 八木バイオエコロジーセンターを中心に、家畜排泄物の利活用を進めます

循環型農業の推進

- ◇ 氷室の郷などを利用し、農業体験を通して循環型農業をPRします
- ◇ 農産物の安全性、環境負荷などの情報を発信します

地域内エネルギー資源の利活用推進

- ◇ 地域内の未利用エネルギーについて、賦存状況を調査し、利活用を検討します